

研究機関名：日本大学医学部附属板橋病院

臨床研究に関する情報公開

疫学研究および臨床研究に関する倫理指針に基づく情報公開について

<インフォームド・コンセントを受けない場合において、当該研究の実施について公開すべき事項に関する細則>に基づいて、下記のとおり情報を公開します。

<p><研究課題名> 慢性呼吸器疾患における気道炎症およびリモデリングに対する制御因子の肺免疫組織学的検討</p>
<p><研究期間> 西暦 2015 年 10 月 30 日 ～ 西暦 2022 年 10 月 31 日</p>
<p><意義・目的> 気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎など慢性呼吸器疾患において、同一の病気の中でも症状の進展や重症度、治療に対する反応性（臨床的表現型；phenotype と言います）が患者さんによって様々です。こうした様々な phenotype が存在する背景としては、気道の炎症や、気道の炎症により気道壁が再構築され（リモデリングと言います）気道壁が硬くなること（線維化と言います）に関連する、様々な分子病態の関与が言われています。 こうした気道炎症とリモデリングに関与する分子病態の解明と制御因子の探索が、よりそれぞれの患者さんに合った個別化治療を行う上で大切であり、治療を行っていく上で意義があると考えます。</p>
<p><方法> 当院において、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎の患者で、1995年～現在までに気管支鏡検査（経気管支鏡的肺生検、擦過細胞診）、経皮肺針生検検査、胸腔鏡下肺生検を行った肺組織検体、または肺癌や気胸の手術において摘出された肺組織検体（当院で保管しているパラフィン包埋ブロックを使用）において、様々な気道炎症やリモデリング・線維化に関与する因子について様々な免疫組織学的染色を行い、それらの結果と臨床症状や血液検査、生理学的検査、画像検査など臨床情報と照らし合わせて検討します。 ★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は、下記の<問い合わせ窓口>までご連絡ください。</p>
<p><問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院 東京都板橋区大谷口上町 30-1 呼吸器内科 部長 氏名：権 寧博 電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2402</p>